

しょうがい
“視覚に障害あります”キーホルダー作りました！

PDEシンドローム
全盲からロービジョン、眼球使用困難症にも対応

しょうがい いろいろ
視覚障害って実は色々！！

ブラインド・全盲

Blind…見えない

BLPは3種類の
視覚障害を表します。

ロービジョン・弱視

Lowvision…見えにくい

PDEシンドローム

PDES…目が使いにくい

自身が視覚障害者であることを
伝えるだけでなく視覚障害の
啓発にもなります。



バッグに付けて



ヘルプマークと一緒に

缶バッジもあります！

こちらは晴眼者にも



BLP缶バッジ

BLPキーホルダー
黄色(直径44mm)



裏は反射板になります

日本点字図書館にて発売中！
店頭・通信販売対応！

TEL 03-3209-0751 / メール yougu@nittento.or.jp

通販サイト http://yougu.nittento.or.jp/product1835_130.html

制作

みんなで勝ち取る

眼球困難フロンティアの会(G-frontier)

BLPキャンペーンページ

<https://g-frontier.xyz/2020/09/04/blp/>



BLP解説

Blind (全盲・見えない)

光の明暗さえも分からない状態から、文字認識困難になるレベルで全盲とするなど定義はあいまいだが、ほぼ見えない状態。ただし、パソコンやスマホは画面読み上げ機能を用いて操作可能。また、記憶・触覚・聴覚をフル動員させて視機能を補うため、世間の想像以上に「出来る」全盲者は多い。もちろん個人差もある。

Low vision (弱視・見えにくい)

全盲以外の視覚障害を指す。視力低下・視野狭窄・色覚障害など。視力障害の場合は拡大読書器やルーペなどの視機能補助具を使う。また、白杖を持ち始めるのは手帳2級以上になってからの人が、パソコンやスマホの文字を音に変換する画面読み上げ機能の使用は1級になってからの人が多い。

この現実から分かるように、白杖を持つものの、スマホは目で見るといった視覚障害者は珍しくないが、白杖を持つ＝全盲という思い込みを持つ人から誤解されることがある。

また、白杖を持たない視覚障害者も多く、そういった人たちが障害者手帳や障害年金を取得しているからといって詐病というわけではない。

PDES (眼球使用困難症・目を使うのが困難)

上の2つが目を開けても見えない・見えにくいのに対し、こちらは目を開ければ見ることは可能だが、目を使うのが困難という状態。2017年に眼球使用困難症候群として提唱された。極度の光過敏やドライアイ・まぶたの障害等からこの状態に陥る。このなかでほとんど目を使えない者は全盲、少しは目を使える場合はロービジョンとも言える。

しかし、あえて別区分としてこのPDESを入れたのは、この障害が医学界・行政・民間全てにおいてほとんど知られていないため、全盲やロービジョンと同等に肩を並べる障害として世間に認識してもらいたく、あえて別枠で表示した。